

第1学年 社会科学習指導案

授業者 花井 奈央明

1 単元名 ゆれ動く武家政治と社会「元軍の襲来」

2 目 標

- 武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに関心をもち意欲的に調べようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きから課題を見出し、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに関するさまざまな資料を収集し、適切に選択し活用することができる。
(資料活用の技能)
- 武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きを、我が国の歴史と関わる東アジア世界の歴史を背景に理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 授業展開にあたって

(1) 教材観

本単元では、武家政権の成立から、その後の武家社会が展開していくあらましを、鎌倉幕府の成立と蒙古襲来を通して理解していく。鎌倉に幕府が開かれ、承久の乱をきっかけに執権政治が確立し、武家政治が広まった。しかし、元軍の襲来によって幕府の支配力は衰えていく。その背景には、将軍と御家人が土地を仲立ちとして御恩と奉公の関係で結ばれていた封建制度のしくみが大きな影響を与えており、元軍の襲来以降、農民や土地を支配するしくみが崩れていった。このように、東アジアの動向がわが国の武家社会に大きく影響を与えたことを扱う教材である。

(2) 生徒の実態 (在籍 男子＊人 女子＊人 計＊人)

準備テスト (9月3日 ＊人実施)		回 答			
1	鎌倉幕府を開いた人物は誰でしょう。	正答 ＊人	誤答 ＊人	無答 ＊人	
2	鎌倉時代に日本に攻めてきた国は? (選択)	正答 ＊人	誤答 ＊人	無答 ＊人	
3	鎌倉幕府が滅亡した理由は何でしょう。	御恩と奉公に触 れて記述 ＊人	土地・褒美に触 れて記述 ＊人	誤答 ＊人	無答 ＊人

本学級は、交友関係が良好で、考えたことや分かったことを自由に発言しやすい雰囲気があり、お互いの意見を認め合うことができる。一方、自分の意見を述べることに対して苦手意識をもつた生徒もいる。また、歴史的な語句などの基礎的・基本的な知識については、未定着な部分もある。そのため、理由を問う問題については、書かれた理由の多くが不十分な内容であった。そこで、本単元の学習では、小学校で学習した人物や社会的事象を資料から想起させながら学習していく必要がある。

(3) 指導観

本単元では、武士のおこりから、鎌倉幕府の成立、承久の乱、元寇、衰退までの歴史の流れをとらえながら、学習をすすめていきたい。まず、学習意欲を高め、話合いが積極的にできるような学習課題を設定する。そして、効果的な資料の活用や多面的・多角的に考察できるような資料提示の工夫を意識したい。まとめではキーワードを用いて記述させることで、基礎的・基本的な知識、技能の習得を目指すとともに、話合い活動を通して、自らの考えを広げることのできる授業の展開を目指したい。

4 学習計画及び評価の観点(5時間扱い) ○数字は本時

時	学習活動・内容	関	思	技	知
1	武士がおこった背景や、武士団の勢力が伸びた理由について、意欲的に追究しようとしている。	○			
2	源平の争いから鎌倉幕府の成立までの経緯や頼朝が目指した政治について、資料から読み取った事象を関連付けてまとめ、理解することができる。				○
3	北条氏の執権政治について理解するとともに、承久の乱で御家人たちが幕府側に結集した理由について考える。	○			

④	元寇の影響により鎌倉幕府が滅んだことについて、御家人の生活の様子や永仁の徳政令、悪党の出現を調べることを通して、説明することができる。	○	
5	絵巻物や文書資料など武士や民衆の暮らしから、鎌倉時代に生まれた新しい仏教や文化の特色について、気付くことができる。		○

5 本時の学習

(1) 目標

元寇が幕府政治に及ぼした影響や幕府と御家人の関わりを考察することを通して、鎌倉幕府が滅亡した要因について説明することができる。

(2) 資料・準備

大型テレビ、タブレット、ワークシート、資料

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点（・）と評価の視点（評）	授業形態
1 元寇について映像資料を視聴して確認する。 (内容) フビライの手紙・戦い方の違いなど。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組を編集した映像(『見える歴史』)を観て、元寇の経緯について確認できるようにする。 ・3つの資料「蒙古襲来絵詞」を提示し、竹崎季長の活躍や元軍と日本軍の戦い方の違いに気付かせる。 	一斉
2 元寇後の鎌倉幕府の様子について知る。 ・1333年鎌倉幕府は滅亡したことを年表で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の活躍の様子を描かせた竹崎季長の気持ちについて考えさせる。 ・承久の乱後、支配力を強めた幕府だったが、およそ100年後に滅んだという事実から学習課題を設定する。 	一斉
3 学習課題を確認する。		一斉
なぜ、鎌倉幕府は滅亡したのか？		
4 御家人の視点から鎌倉幕府の滅亡の理由を探る。 (1) 御家人の気持ちについて、資料を基に考える。 (2) 御家人の生活について資料を基に考える。 ・分割相続 ・永仁の徳政令 ・悪党の出現 (3) 元寇後の御家人の生活について話し合い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府の役人に御家人竹崎季長はどんなことを言っているか、セリフを考えることで、恩賞が少なかったことに気付かせる。 ・セリフが書けない生徒には、竹崎の苦労話を机間指導し、気持ちを考えられるようにする。 ・「元寇後の御家人の生活はどのようなものであったのか」という視点で、3つの資料を結びつけるようにする。 ・資料選択が難しい生徒には、悪党の出現から読み取るように机間指導する。 ・個人で考えた時よりも、変化したところはペンの色を変えてワークシートに記入することで、自分の考えの深まりを意識できるようにする。 ・グループでの話し合いを基に、発表させる。その際、発表者のワークシートはタブレットを使って撮って紹介する。 ・「元」「御恩」のキーワードを使ってまとめるよう伝える。 	個人全体 個人 グループ
5 本時のまとめをする。		一斉
鎌倉幕府が滅亡したのは、鎌倉幕府は元からの攻撃を防ぎ、命をかけて戦った御家人に対して、御恩を十分に与えることができなかつたため、幕府と御家人のつながりである御恩と奉公の関係が崩れたためである。		
	(評) 鎌倉幕府が滅亡した理由について、元寇の影響や幕府と御家人の関わりから考察し、説明することができる。 (ワークシート)	